

# 環境報告書 2024

NASU-MATERIAL Corporation Environmental Report



**NASU MATERIAL**

<http://www.nasu-material.co.jp>

# 環境報告書の作成にあたって

この環境報告書は、当社における環境に関する活動の成果をとりまとめ、公表するものです。

## 環境報告書対象期間

2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月31

当社の2023年度の活動をまとめたものです。

## 環境報告書対象組織

那須マテリアル株式会社

本社

栃木県大田原市

東北事業所 福島県西白河郡西郷村

発行 2024年 8月

# CONTENTS

1. 会社概要	3
2. 工場及び業務の内容	4
3. 環境方針	5
4. EMSの取り組みー1	6
EMSの取り組みー2	7
5. 教育訓練	8
6. 産業廃棄物の再生資源化、情報漏洩	9
7. SDGsの取り組み	10
8. その他の環境活動	10
9. 地域社会への取り組み	11

# 1. 会社概要

商号	那須マテリアル株式会社	
所在地	本社工場	栃木県大田原市北金丸2122番地（産業廃棄物処理施設）
	東北事業所	福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平175番5
創立	1997年 9月 9日	
資本金	5600万円	
代表者	代表取締役	星 彰治

## 会社履歴

1997年	9月	那須マテリアル株式会社を設立。	2015年	11月	茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。
2000年	3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を取得。 栃木県産業廃棄物処分業許可を取得。			茨城県産業廃棄物収集運搬業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。
2002年	11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を取得。	2016年	2月	太陽光発電事業（低圧第四発電所）の開始。
	12月	宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を取得。			太陽光発電事業（低圧第一発電所）の開始。
2003年	6月	星 彰治が代表取締役に就任。	2016年	10月	太陽光発電事業（低圧第二発電所）の開始。
2004年	11月	I S O 14001の認証を取得。	2017年	3月	栃木県産業廃棄物収集運搬許可を更新。
2005年	3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。 栃木県産業廃棄物処分業許可を更新。			栃木県産業廃棄物収集運搬業において、引き続き優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。
2006年	4月	福島県にシリコンの選別・検査・加工の施設として東北事業所を開設。			栃木県産業廃棄物処分業許可を更新。
	9月	一般労働者派遣事業許可を取得。			栃木県産業廃棄物処分業において、引き続き 優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。
	10月	群馬県産業廃棄物収集運搬許可を取得。		8月	古物商許可取得。
2007年	8月	I S O 27001の認証を取得。		10月	風力発電事業（低圧第一発電所）の開始。
	11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。	2018年	1月	栃木県において、移動式破砕機の産業廃棄物処理施設設置許可を取得。
	12月	宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を更新。			栃木県産業廃棄物処分業の取り扱う種類に木くずを追加。
2008年	12月	郡山市産業廃棄物収集運搬許可を取得。		6月	太陽光発電事業（低圧第三発電所）の開始。
2009年	2月	福島県西郷村の東北事業所を増築。		12月	風力発電事業（低圧第三発電所）の開始。
2010年	3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。 栃木県産業廃棄物処分業許可を更新。			静岡県掛川市に太陽光発電施設（高圧）を取得。
	9月	茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を取得。	2019年	12月	栃木県産業廃棄物収集運搬業において、収集運搬車両を追加。
2011年	4月	廃掃法改正のため、宇都宮市と郡山市の産業廃棄物収集運搬業の許可が各県知事の許可と合理化。	2021年	10月	「とちぎのSDGs推進企業登録制度」に登録となる。
	10月	栃木県産業廃棄物処分業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。 栃木県産業廃棄物収集運搬業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。		11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。
	11月	群馬県産業廃棄物収集運搬許可を更新。 群馬県産業廃棄物収集運搬業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。	2022年	12月	茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。
		福島県産業廃棄物収集運搬業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。			茨城県産業廃棄物収集運搬業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。
2013年	2月	太陽光発電事業（第一期）の開始。	2024年	3月	栃木県産業廃棄物収集運搬許可を更新。
	4月	太陽光発電事業（第二期）の開始。			栃木県産業廃棄物収集運搬業において、引き続き優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。
	12月	東北事業所にて 太陽光発電事業の開始。			栃木県産業廃棄物処分業許可を更新。
2014年	11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。 福島県産業廃棄物収集運搬業において、引き続き 優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。			栃木県産業廃棄物処分業において、引き続き 優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。

## 2. 工場及び業務の内容

### ● 本 社

所在地 栃木県大田原市北金丸2122番地

敷地面積 31,712㎡

業務内容 ●0A機器・金融機器・家電等の電子機器類等の手解体・選別することにより、鉄・非鉄、貴金属・ガラス・プラスチック・紙回収のリサイクル事業  
●太陽光、風力を利用した発電業務、電力の販売、並びに太陽光発電施設の企画・提案、販売、太陽光発電機械機器具の販売、設置  
●建設資機材・環境機器のレンタル事業  
●不動産賃貸業務

保有設備 破砕機×1, 粉砕機×1, 被覆電線処理装置×1, 発泡スチロール減容再生機×1, フォークリフト×2, ローリフト×1, トラックスケール×1, プリンター付デジタル計量器×1, 2tトラック×1, 4tトラック×2, 自走式木材破砕機×1, 3.8m 敷鉄板×150



本 社

### ● 東北事業所

所在地 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平175-5

敷地面積 3,012.74㎡

業務内容 ●鉄・非鉄、貴金属・プラスチック・紙回収によるリサイクル  
●シリコンスクラップの売買及び検査加工業務、並びにソーラーグレード、シリコンインゴットの売買  
●太陽光を使用した発電業務、電力の販売

保有設備 フォークリフト×2, シリコン自動選別機, プリンター付デジタル計量器×1



東北事業所

### ● 事業許可一覧

許 可	許可機関	許可番号	許可年月日	許可有効期限
産業廃棄物処分業許可	栃木県	920068280	令和6年3月27日	令和13年3月26日
産業廃棄物収集運搬業許可	栃木県	910068280	令和6年3月9日	令和13年3月8日
産業廃棄物収集運搬業許可	福島県	707068280	平成26年12月26日	令和10年11月19日
産業廃棄物収集運搬業許可	群馬県	1000068280	平成30年10月6日	令和7年10月5日
産業廃棄物収集運搬業許可	茨城県	801068280	令和4年12月6日	令和11年9月12日
産業廃棄物処理施設設置許可	栃木県	45-1	平成30年2月2日	期限なし
古物商許可	栃木県公安委員会	41108000911	平成29年8月8日	期限なし
労働者派遣事業許可	厚生労働大臣	派09-300101	平成18年9月1日	令和6年8月31日

マークは優良産業廃棄物処理業者認定制度により適合認定を受けております

### ● 環境への推進体制



### ● グループ会社



秋田マテリアル株式会社

本 社：秋田県にかほ市平沢字深谷地16-8  
三森工場：秋田県にかほ市三森字高田20番地  
<https://akita-material.com/>



エヌスホールディングス株式会社  
N's HOLDINGS

本 社：福島県西白河郡西郷村大字小田倉大平175-5  
大田原支社：栃木県大田原市北金丸2122



PRETEC ENGINEERING SF  
プレテックエンジニアリングエスエフ

栃木県那須塩原市三区町531-1  
<http://pesf.co.jp/>

## 3. 環境方針

### 【基本理念】

当社は、廃棄物を国際資源と捉え、手解体、手選別という手法により、再資源化・有効利用していく「循環型社会の構築」という夢に貢献して参ります。

当社は、産業廃棄物処分及び収集運搬事業、シリコンスクラップの再生利用事業、太陽光、風力の発電業務、太陽光関連機械器具販売という環境保全に関わる事業を展開しており、お取引先様の社会的責任においても大きな役割を果たしています。また、その活動は持続可能な社会の実現を目指した取り組みと、目標を同じくするものであり、各社員が自覚を持ち、それぞれの役割を果たすことで、SDGsの目標達成にも寄与して参ります。

### 【方針】

1. 当社は、当社の事業活動に伴って発生する環境影響等を認識し、環境負荷の低減に向け、環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染の予防に努めます。
2. 当社は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他要求事項を遵守することはもちろん、経済面・スタッフ・技術面において可能な限り更なる自主規制を設けます。
3. 当社の立地する大田原市金田地区は、ザゼン草の群生地や白鳥の飛来する羽田沼、また2006年4月開設した東北事業所の立地する福島県西郷地区は、日光国立公園「さわやか高原公園都市」と紹介され、大石川、「阿武隈川」の源流や、隣の白河市には、日本最古の「南湖公園」が存在するという恵まれた自然環境であることを踏まえ、当社の事業活動における環境負荷抑制のための最重要課題として以下の項目を設定します。
  - (1) 太陽光発電、及び、風力発電業務における電力の供給を行い、自然エネルギーの有効利用を推進します。
  - (2) 省資源・省エネルギーの推進、環境負荷の軽減に努めます。
  - (3) 収集運搬車両の燃費向上に努め、CO2排出を抑制するよう、エコドライブを心がけます。
  - (4) 再生入荷物及びリサイクル品の資源・素材の再利用及び再生利用を行い、有効利用を促進します。
4. これらの環境目的に従事する従業員に周知・認識させ、更に個々の視点からの発想も積極的に取り入れていき、「実行」の仕組みを確立し、「点検」・「見直し」の機会を設けていきます。
5. この環境方針は当社で働く又は当社に委託されて働く全ての人に周知するほか、社外の利害関係者に公表致します。

作成：2004年 6月18日

改定：2024年 4月 5日

那須マテリアル株式会社

代表取締役 星 彰治

## 4. EMSの取り組み

①

### ● 環境目標一覧

区分	環境目的	著しい環境側面	基準値	運用開始 20年度目	
				2023年度目標 期間：2023年4月 ～2024年3月	目標量等
Ⅰ 省エネ・ 省資源 対策	1. 電力使用量の削減  (100V, 200V)	事務所の照明, 事務機器, 業務部門関連の施設設備（プレス機）等の稼働に伴う電力の消費  Co2削減目標に置き換えて集計する	本社2020年度 使用実績値 39,790kwh  東北2020年度 使用実績値 18,655kwh  合計： 58,445kwh	■CO2排出削減目標に置換える	
	2. 軽油の消費削減	業務部, 東北事業所 業務部門の使用トラック	2020年度実績 5,350L		
Ⅱ 廃棄物 対策等	3. CO2の排出削減	「電力」「軽油」「ガソリン」「LPガス」「灯油」の使用に伴うCO2の排出	2020年度実績 45,586kgCO2	■目標：基準値比 1.5%削減	44,902kgCO2
Ⅲ その他 環境に 有益な 項目	1. 再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による 資源・素材の再利用及び再生利用の促進		2020年度実績 1,514,037Kg	■目標：基準値比 2.0%増加	1,544,318kg
	2. 会社周辺のクリーン活動		2020年度実績 2回	■目標実施回数	2回/年
	3. 再生可能エネルギー発電事業によるCO2の削減		2020年度実績 1,020,075 kgCO2	■実績値の集計の実施	
	4. 新規アイテムのリサイクル業務		TOP SECRET	TOP SECRET	
	5. 太陽光パネルの洗浄		2020年度 実績 1回	■本社高圧発電所のうち1/2箇所実施	

## 4. EMSの取り組み ②

### ●環境活動実績と推移

環境目的		2021年度実績	2022年度実績	2023年度の目標値	2023年度実績	実績結果
省エネ・省資源対策 廃棄物等排出対策	・電力使用量の削減 ・軽油の消費削減 ・CO2の排出削減	2021年度 削減目標値より 9.0%削減  目標値達成  	2022年度 削減目標値より 12.5%削減  目標値達成  	・CO2排出基準値 45,586 kg-co2 より1.5%削減	2023年度 削減目標値より 46%削減  目標値達成  	環境省の「温室効果ガス排出算定・報告・公表制度」及び「電気事業者別の排出係数」等を参考に算出。 2020年度の実績を基準値とし、目標値を1.5%削減とした。 エアコン・照明の入替による使用電力量の削減に加え、廃棄物のスポット的な回収頻度が落ち着いたことによる軽油使用量が減少したことも要因と考えられる。大幅に目標値を達成したため、次年度の目標値設定の際考慮する。
	施設、設備、作業関連の緊急時対策	・収集運搬業  緊急事態発生件数 0件  	緊急事態発生件数 0件  <b>登録</b>	緊急事態発生件数 0件  <b>除外</b>	緊急事態発生件数 1件  <b>除外</b>	2023年度も登録からは除外。 除外のため、目標値は設定していなかったが、2023年度強風による車両破損の緊急事態が1件発生してしまっため、次年度は再登録となる。
その他環境に有益な項目	・再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進	2021年度目標値 45.0%増加  	2022年度目標値 21.1%増加  	・再生入荷物 リサイクル品取扱量 (1,544,318kg) ↓目標値変更 1,137,801kg	2023年度目標値 9.5%減少  	2023年度リサイクル品取扱量が期中に連続未達成となってしまうため、要因をスポット回収が大幅に減少したためと分析し、目標値を再設定した。期末の時点では未達成となってしまうので、次年度の目標値設定が課題。
	・会社周辺のクリーン活動	2021年度目標値 2回実施  	2022年度目標値 2回実施  	目標 2回/年実施	2023年度目標値 2回実施  	本社、東北事業所の周辺道路において、クリーン活動を実施。
	・再生可能エネルギー発電事業によるCO2の削減	実績集計の実施 2020年度 実績を基準値として 6.7%削減量DOWN  	実績集計の実施 2021年度実績を 基準値として 6.6%削減量DOWN  	2022年度実績 850,074kg-CO2	実績集計の実施 2022年度実績を 基準値として 5%削減量UP  	当社の再生可能エネルギー発電所における発電量から係数を用いて算出した。自然エネルギーを利用しているため、その年の天候の状況に大きく左右される。 2022年の実績値に比べて削減量はUPとなった。太陽光発電所のパネル洗浄は半期づつ場所を変えながら年2回実施し、発電量の維持を図る。
	・新規アイテムのリサイクル業務	<b>TOP SECRET</b>	<b>TOP SECRET</b>	<b>TOP SECRET</b>	<b>TOP SECRET</b>	-
	・太陽光発電所のパネル洗浄	実績なし	本社高圧発電所のうち 1/2箇所実施	本社高圧発電所のうち 1/2箇所実施	本社高圧発電所のうち 1/2箇所実施	発電量の維持を計るため、本社高圧発電所に加えて、低圧発電所のパネル洗浄も実施した。今後も順次実施予定。

## 5. 教育訓練

### ● 環境訓練計画

教育名	教育の内容	対象者	実施期間	主管部門・機関
1.一般教育 I・II	・EMS概要 ・環境マネジメント活動全般 (方針、目的目標、EMP等含む)	管理者・一般従業員全員 (本社・東北事業所)	6～7月	環境管理課 部門責任者
2.特定教育	・作業による顕在的又は潜在的な環境影響 ・手順書に従わなかった場合の環境影響 ・環境関連法規等 ・その他著しい環境側面に関する知識	適用者全員 (本社・東北事業所)	6～7月	部門責任者 推進リーダー
3.専門教育	環境内部監査員養成講座	内部監査員候補者(予定なし)	-	外部講座
	環境監査員ブラッシュアップ教育 (監査の前の訓練)	内部監査員新人メンバー(予定なし)		内部監査リーダー
4.顧客要求事項教育	顧客先における環境安全教育の受講と社内における周知	該当部門責任者 関連作業従事者	1回/年	該当部門責任者
6.その他	産業廃棄物処理、再生利用に関する教育	関連従事者 (グループ会社も含む)	9月～11月	環境管理責任者
7.防災訓練 緊急事態対応訓練	防災訓練 今期特定している緊急事態について 緊急事態発生時での対応及び処置 緊急事態の実際の訓練	全従業員 緊急事態が想定される業務に従事している従業員 (本社・東北事業所)	9月～10月	環境管理課 部門責任者

### ● 教育訓練記録

当社では、毎年教育訓練計画に基づき、環境一般教育、特定教育、内部監査員教育等を実施し、すべての従業員に環境活動の取り組みへの理解や環境意識の向上を図っております。

また、業務の効率化を図る上でも、他部門やグループ会社の業務内容を理解できるよう、代表による合同教育を計画し開催しております。

学習効果をより向上させるため、少人数のグループを形成して実施しております。



一般教育・特定教育



オンラインによるセミナー受講



産業廃棄物・再生利用に関する教育



防災訓練

## 6. 産業廃棄物の再資源化と情報漏洩対策

排出者より処理委託を受けた産業廃棄物を極めて細やかに手解体・手選別することにより、鉄・非鉄・貴金属・ガラス・プラスチック等のリサイクル化を行っております。

### ● プロジェクター機器解体の場合



### ● サーバー機器解体の場合



個人情報など重要なデータが含まれているハードディスクは、廃棄の際フォーマットや出荷状態へ戻しただけでは不十分であり、重大なセキュリティ事故を招く可能性があります。

当社では、破砕機に投入する等により、物理的に破壊し、読み込みを不可能にします。使用不可になるので、データは失われ、見た目にもデータごと破壊されていることが一目瞭然です。

### ● リサイクル報告書、廃棄証明書の作成

当社では、排出事業者様のご希望がございましたら、リサイクル処理報告書、廃棄証明書の発行や解体写真の提出、また、搬入時に排出事業者の担当者様立会のもと、廃棄物の適正処理状況の確認をして頂いております。



## 7. SDGsの取り組み

当社の主な事業活動である再資源化事業・再生利用事業、再生可能エネルギー発電事業は、資源を有効に活用し環境保全に関わる事業であり、お取引先様の社会的責任においても大きな役割を果たしていると考えます。

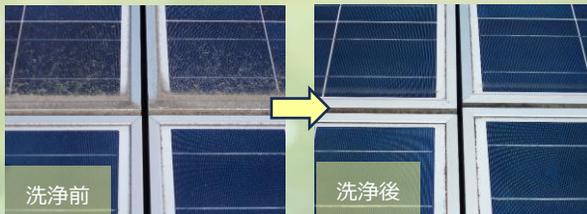
その活動は SDGs の達成と目標を同じくするものであり、各社員が自覚を持ち、それぞれの役割を果たすことで、今後もSDGs の目標達成に貢献して参ります

### ● 「とちぎSDGs推進企業登録制度」の継続

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び指標の進捗状況 進捗確認年月日：2023年10月13日
環境 経済	再生可能エネルギー発電事業によるCO2削減	発電効率の維持	△発電効率維持を継続中 太陽光発電所内において、順次パネル洗浄を実施
環境 社会 経済	廃棄物の適正管理、再生入荷物・リサイクル品の取り扱い増加、及び再利用、再資源化の促進	2020年度 →目標値3%増加達成実績 2030年度 →目標値8%増加達成	△取組継続中 2023年度目標値未達成
社会 経済	個人情報、顧客情報の保護を含めた法規制の遵守	一年に一度全従業員を対象とした教育の実施	△取組継続中 2023年7月 教育訓練実施済



### ● 太陽光発電施設のメンテナンス



	PCS1 (個体差 P1/P3)			PCS4 (個体差 P4/P3)		
	実測値	予測値	増加率(%)	実測値	予測値	増加率(%)
5月18日	710	549	6.794	190	426	7.456
5月19日	330	919	7.297	886	005	9.184
5月20日	925	004	7.436	729	428	7.641
5月21日	960	630	6.177	144	302	6.663
5月22日	311	029	5.660	405	129	7.111
5月23日	904	491	6.162	542	826	8.614
5月24日	242	686	6.875	858	557	-1.814
5月25日	962	911	6.623	351	931	7.514
5月26日	130	989	6.792	898	625	8.497
5月27日	295	655	6.281	573	579	6.817
5月28日	543	443	6.444	108	551	6.897
5月29日	292	403	7.087	642	173	8.511
5月30日	261	060	6.150	339	171	5.199
5月31日	308	811	7.311	952	125	5.043
5/18~5/31 合計	738	379	6.649	917	830	6.036

パネル洗浄の結果、洗浄しなかった場合の予測発電量より実測値が上回る結果となった。

### ● 社員のSDGsの取組事例

#### ■ 適正な分別と適正な処理

社内より発生した廃棄物は素材ごとに分別し、可能な限りリサイクル。

#### 上手に分ければ、大事な資源

#### ■ 節電、節水を心掛ける

こまめな消灯、使用していない電化製品は電源を抜く。

無理のない範囲で室内温度を管理する。エアコンフィルターの掃除。扇風機の併用。

#### 余計なエネルギーは使わない 環境保全に貢献

#### ■ ペーパーレスや電子化の推進

紙の使用を控え、可能であればメールでの運用やモノクロ印刷を推進。

#### 自然を大切に、環境破壊を抑制し、保護する



ひとつひとつは小さなことですが、社員ひとりひとりの心掛けと意識がSDGsの目標達成の原点と考えます。



## 8. 地域社会への取り組み

### ● クリーン活動

年2回 本社及び東北事業所の従業員が、工場周辺のクリーン活動を実施しています。



本社 クリーン活動の様子



東北事業所 クリーン活動の様子

### ● 地域プロスポーツチームの支援

当社では、地域活性化を目的とし、2020-2021シーズンより栃木県のプロバスケットボールチーム「宇都宮BREX」のオフィシャルスポンサーとして、チームを応援しています。



宇都宮ブレックスのウォームアップウェアに社名が掲載されました。



私たちは宇都宮BREXを  
応援しています

「BREX with」の活動に賛同し、近隣の小学校の児童や、教育委員会を通じ中学生を天皇杯の試合に招待しました。



### ● 企業版ふるさと納税



弊社代表取締役星彰治が、2024年2月6日に行われた秋田県にかほ市の企業版ふるさと納税寄付贈呈式に今年も出席しました。

秋田県にかほ市には弊社の風力発電施設やグループ会社である秋田マテリアル株式会社がございます。

那須マテリアル株式会社は、事業活動及びこの環境報告の情報開示を通じ、  
地球社会・顧客・お取引先様とコミュニケーションを計るとともに、  
信頼確保に今後とも努めて参ります。

代表取締役



2024年 8月